



2025 年 3 月 14 日

アンモニアを燃料とした「大型アンモニア輸送船」の設計基本承認を共同取得

～アンモニア輸送のさらなる大容量化に向けて～

株式会社名村造船所は、株式会社商船三井（以下、「商船三井」）及び三菱造船株式会社（以下、「三菱造船」）とアンモニアを燃料として航行する大型アンモニア輸送船を対象に、一般財団法人日本海事協会（以下、「NK」）より、アンモニア燃料対応設計の基本承認（AiP ; Approval in Principle）※¹を取得しました。

ゼロカーボン燃料や水素キャリアとしてのアンモニアの利用拡大、また現在実証フェーズにある発電所における将来のアンモニア混焼需要に備え、アンモニア輸送の大容量化に向けたソリューションとして、大型 LPG・アンモニア輸送船（VLGC・VLAC）よりも更に大容量の貨物槽を持ち、かつ低エミッション輸送を実現するアンモニア燃料に対応するアンモニア輸送船を開発しました。

特に、日本国内の主要な発電所への入港制限を満足し、かつ、カーゴマニホールド等の主要な船陸間の整合性等は既存の VLGC とほぼ同等を確保した画期的な船型となります。

本件は、当社が商船三井、三菱造船と共同開発を進めたもので、NK による基本計画図面の審査とリスクアセスメント（HAZID ; Hazard Identification Study）※²を実施、その結果を基本設計へ反映させ詳細設計まで完了しました。

HAZID においては、主に懸念されるアンモニアの毒性に関する安全性を最優先に評価、検討し、十分な対策を施した設計としています。



提供：商船三井

本船イメージ



AiP 証書



当社は、地球環境に優しい船づくりによる持続可能な社会の実現のために、環境負荷低減を当社経営の最重要課題の一つと位置付けており、2050 年カーボンニュートラルを掲げる政府方針に沿い温室効果ガスの排出削減を目指します。また、お客様のご期待に応えるべく、次世代燃料船の開発にも積極的に取り組み低炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 AiP (Approval in Principle) :

新規技術や既存規則が詳細に規定していない分野において、専門家によりリスク評価を踏まえた設計基本承認。AiP 取得は本技術・コンセプトを導入した基本設計に関するフィジビリティスタディが完了したことを意味し、その後の詳細設計への展開をクリアかつスムーズなものとする事ができる。

なお、今回はフィジビリティスタディに留まらず、基本設計をもとに詳細設計まで終えている。

※2 HAZID (Hazard Identification Study) :

システムの潜在的危険性についてその大きさと発生頻度を専門家間で討議し、システム全体として十分な安全性を持つようにするリスク評価・管理手法。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 15-12

株式会社名村造船所 経營業務本部 企画部

E-mail: Gn_Info@namura.co.jp

TEL : 03-6324-4971 FAX : 03-6324-1999